

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 10098572
PUBLICATION DATE : 14-04-98

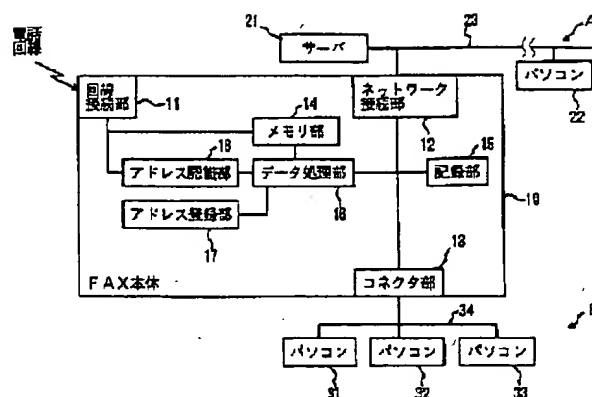
APPLICATION DATE : 24-09-96
APPLICATION NUMBER : 08251137

APPLICANT : RICOH CO LTD;

INVENTOR : KURAMOTO ATSUSHI;

INT.CL. : H04N 1/00 H04N 1/00 G06F 3/12
H04L 12/54 H04L 12/58 H04M 11/00
H04N 1/32

TITLE : FACSIMILE EQUIPMENT



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To directly exchange data even between terminals of independent networks by previously registering the address of the terminals used in the network.

SOLUTION: A line connecting part 11 constitutes a public line connecting part, a network connecting part 12 constitutes a first line connecting part and a connector part 13 constitutes the second line connecting part. An address recognizing part 18 which extracts(obtains) address information from an IP address which is designated by the network A is provided together with an address register part 17 which designates one of personal computers 31-33. When address information is recognized from the IP address which is designated as the transmission destination of data transmitted from the personal computer 22 with a server device 21 in the network A, a data processing part 16 judges whether or not the address information is registered and directly delivers data stored in a memory part 14 to the applying personal computers 31-33.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-98572

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月14日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
H 0 4 N 1/00	1 0 7 1 0 4	H 0 4 N 1/00 1 0 7 A 1 0 4 B
G 0 6 F 3/12		D
H 0 4 L 12/54		3 0 3
12/58		L

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平8-251137
(22) 出願日 平成8年(1996) 9月24日

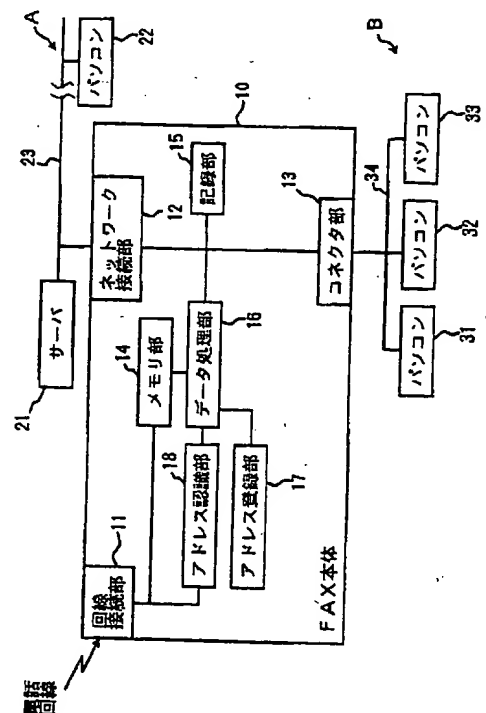
(71) 出願人 000006747
株式会社リコー
東京都大田区中馬込1丁目3番6号
(72) 発明者 倉元 淳
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内
(74) 代理人 弁理士 有我 軍一郎

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、ファクシミリ装置に関し、接続されたネットワーク上で用いるアドレスを直接利用できるようにすることにより、別個に接続されるネットワーク間のデータの送受を可能にして、利用性の向上を図ることを目的とする。

【解決手段】 公衆回線を介するファクシミリデータの送受を実行する回線接続部11と、ネットワークA上のサーバ装置21との間のデータの送受を実行するネットワーク接続部12と、ネットワークB上のパソコン31~33との間のデータの送受を実行するコネクタ部13と、パソコン31~33を指定するアドレス情報を登録するアドレス登録部17と、サーバ装置21から送られてきたIPアドレスからアドレス情報を抽出して登録の有無を判別し該当するパソコン31~33に受信データを直接配送するデータ処理部16と、を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】公衆回線に接続され該公衆回線を介してファクシミリ端末装置との間でデータの送受を実行する公衆回線接続部と、公衆回線と異なる第1ネットワークを構築する第1通信回線に接続され該第1通信回線を介して第1端末装置との間でデータの送受を実行する第1回線接続部と、公衆回線および第1通信回線の何れとも異なる第2ネットワークを構築する第2通信回線に接続され該第2通信回線を介して第2端末装置との間でデータの送受を実行する第2回線接続部と、これらのネットワーク上で使用される少なくとも第1、第2端末装置の何れか一方のアドレスを登録するアドレス登録部と、第1、第2端末装置の何れかから送られてきたデータに送信先として付加されているアドレスを取得してアドレス登録部に登録されているか否かを判別する登録判別部と、登録判別部による判別結果に基づいて第1、第2端末装置の一方から送られてきたデータの送信先のアドレスがアドレス登録部に登録済みである場合には該アドレスを用いて第1、第2端末装置のアドレスを登録済みの他方へ該データを配送する配送処理部と、を備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】ネットワークを構築する通信回線に接続され該通信回線を介して端末装置との間でデータの送受を実行するネットワーク回線接続部と、原稿から画データを読み取る読取部と、読み取られた画データから原稿の一部に書込まれたネットワーク上で使用されるアドレスを認識するアドレス認識部と、読み取られた画データを認識されたアドレスを用いて端末装置へ配送する配送処理部と、を備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】公衆回線に接続され該公衆回線を介してファクシミリ端末装置との間でデータの送受を実行する公衆回線接続部と、前記通信回線により構築されるネットワーク上で使用される端末装置のアドレスと共に該アドレスにファクシミリ番号を対応付けして登録するアドレス登録部と、前記アドレス認識部により認識されたアドレスがアドレス登録部に登録されているか否かを判別する登録判別部と設け、前記配送処理部を、判別結果に基づいて読み取られた画データをアドレス登録部に登録されているアドレスに対応付けされたファクシミリ番号を用いてファクシミリ端末装置へ配送するように構成したことを特徴とする請求項2記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークに接続されるファクシミリ装置に関し、詳しくは、ネットワーク上で用いるアドレスを直接利用できるように工夫したものに關する。

【0002】

【従来の技術】従来より、読み取った画情報を公衆回線を介するファクシミリ通信により相手先に送信するファ

クシミリ装置が知られており、近年の通信情報の増大および通信技術の向上に伴って、ネットワーク上にファクシミリ装置を接続し共通使用することが行なわれている。

【0003】この種のファクシミリ装置としては、特開平4-170255号公報に記載されているものがある。このファクシミリ装置は、ネットワーク上に接続されており、ファクシミリ通信のプロトコルコマンド中に付加された選択情報に基づいて、同一のネットワークに接続された複数のパーソナルコンピュータ（以降、単にパソコンともいう）のうちから何れかを選択し、公衆回線を介して受信した文書（原稿から読み取った画データ）をそのパソコンのメールボックス内に配送するようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のファクシミリ装置にあっては、ファクシミリ文書とともにプロトコルコマンド中の選択情報を受け取ってパソコンにその文書を配送するため、前記ネットワークと別個にパソコンを接続して、すなわち、ファクシミリ装置を前記ネットワークのメインネットワーク上で利用すると共に、別個に構築するサブネットワークにも接続して利用できるようにした場合には、メインネットワークとサブネットワークに接続された端末装置間でデータを相互に送受することができず、有効利用することができないという問題があった。

【0005】また、ファクシミリ装置で読み取った文書は、プロトコルコマンド中に選択情報を付加されて受信したもののみをネットワーク上のパソコンなどの端末装置に配送することができるだけであったので、ファクシミリ装置が接続されているネットワーク上の端末装置にアドレスを指定して直接配送することができないという問題があった。

【0006】そこで、本発明は、ネットワーク上で用いるアドレスを直接利用できるように工夫することにより、請求項1に記載の発明においては、別個に接続されるネットワークの間のデータの送受を可能にして、利用性の向上を図ることを目的としている。また、請求項2に記載の発明においては、接続されているネットワーク上の端末装置へ読み取ったデータを直接配送できるようにして、利用性の向上を図ることを目的としている。さらに、請求項3に記載の発明においては、アドレスによりファクシミリ番号を指定できるようにして、利用性の向上を図ることを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的達成のため、請求項1に記載の発明は、公衆回線に接続され該公衆回線を介してファクシミリ端末装置との間でデータの送受を実行する公衆回線接続部と、公衆回線と異なる第1ネットワークを構築する第1通信回線に接続され該第1通信

回線を介して第1端末装置との間でデータの送受を実行する第1回線接続部と、公衆回線および第1通信回線の何れとも異なる第2ネットワークを構築する第2通信回線に接続され該第2通信回線を介して第2端末装置との間でデータの送受を実行する第2回線接続部と、これらのネットワーク上で使用される少なくとも第1、第2端末装置の何れか一方のアドレスを登録するアドレス登録部と、第1、第2端末装置の何れかから送られてきたデータに送信先として付加されているアドレスを取得してアドレス登録部に登録されているか否かを判別する登録判別部と、登録判別部による判別結果に基づいて第1、第2端末装置の一方から送られてきたデータの送信先のアドレスがアドレス登録部に登録済みである場合には該アドレスを用いて第1、第2端末装置のアドレスを登録済みの他方へ該データを配送する配送処理部と、を備えることを特徴とするものである。

【0008】この請求項1に記載の発明では、公衆回線に接続されるとともに、第1、第2ネットワークの双方に別々に接続される場合であっても、例えば、予め第2通信回線に接続された第2端末装置の第2ネットワーク上で使用されるアドレスをアドレス登録部に登録しておくことにより、第1ネットワークの第1通信回線に接続された第1端末装置から送信先として第2端末装置のアドレスを指定するデータが第1回線接続部を介して受信された場合には、そのアドレスは登録済みであると登録判別部により判別された後に、受信データはそのアドレスの第2端末装置に第2回線接続部を介して配送処理部により配送される。したがって、別々に接続される第1、第2ネットワーク上の第1、第2端末装置の間でも直接データを送受することができる。

【0009】請求項2に記載の発明は、ネットワークを構築する通信回線に接続され該通信回線を介して端末装置との間でデータの送受を実行するネットワーク回線接続部と、原稿から画データを読み取る読取部と、読み取られた画データから原稿の一部に書込まれたネットワーク上で使用されるアドレスを認識するアドレス認識部と、読み取られた画データを認識されたアドレスを用いて端末装置へ配送する配送処理部と、を備えることを特徴とするものである。

【0010】この請求項2に記載の発明では、読取部により読み取られた画データからネットワーク上で使用されるアドレスがアドレス認識部により認識され、読み取られた画データはそのアドレスのネットワーク上の端末装置へネットワーク回線接続部を介して配送処理部により配送される。したがって、接続されているネットワーク上の端末装置へ読み取ったデータを直接配送することができる。

【0011】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の発明の構成に加え、公衆回線に接続され該公衆回線を介してファクシミリ端末装置との間でデータの送受を実

行する公衆回線接続部と、前記通信回線により構築されるネットワーク上で使用される端末装置のアドレスと共に該アドレスにファクシミリ番号を対応付けして登録するアドレス登録部と、前記アドレス認識部により認識されたアドレスがアドレス登録部に登録されているか否かを判別する登録判別部と設け、前記配送処理部を、判別結果に基づいて読み取られた画データをアドレス登録部に登録されているアドレスに対応付けされたファクシミリ番号を用いてファクシミリ端末装置へ配送するように構成したことを特徴とするものである。

【0012】この請求項3に記載の発明では、予めネットワーク上で使用される端末装置のアドレスにファクシミリ番号を対応付けしてアドレス登録部に登録しておくことにより、読取部により読み取られた画データからネットワーク上で使用されるアドレスがアドレス認識部により認識された後にそのアドレスが登録済みでファクシミリ番号に対応付けされていると登録判別部により判別された場合には、読み取られた画データはそのアドレスに対応付けされているファクシミリ番号のファクシミリ端末装置へ公衆回線接続部を介して配送処理部により配送される。したがって、読み取って認識するネットワーク上で使用するアドレスを利用してファクシミリ送信することができる。なお、前記ファクシミリする相手先の端末装置は、ネットワーク上に接続された他のファクシミリ端末装置であってもよく、またネットワークに接続されていない他のファクシミリ端末装置であってもよい。

【0013】ここで、前記端末装置は、1台に限らるものではなく、2台以上であってもよいことはいうまでもない。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面に基づいて説明する。図1および図2は本発明に係るファクシミリ装置の第1実施形態を示す図であり、本実施形態は、請求項1に記載の発明に対応する。まず、構成を説明する。

【0015】図1において、ファクシミリ装置10は、電話回線（公衆回線）を接続されてファクシミリ通信プロトコルを実行することによりその電話回線を介して相手先のファクシミリ端末装置との間でファクシミリデータを送受する回線接続部11と、サーバ装置21やパソコン22等を連結（接続）してネットワークAを構築している通信媒体23を接続されてそのネットワークAで用いるプロトコルを実行することによりサーバ装置21との間でパソコン22等からのデータを送受するネットワーク接続部12と、複数のパソコン31～33を通信媒体34を介して接続されてデータを直接そのパソコン31～33との間で送受するコネクタ部13と、接続部11、12やコネクタ部13を介して受け取ったデータを記憶するメモリ部14と、メモリ部14に記憶されたデータを読み出して用紙に記録出力する記録部15と、送受するデータに必要なに応じて圧縮／伸長す

るなどのデータ処理を施すとともに接続部11、12あるいはコネクタ部13を介するデータの送受を実行させるデータ処理部16と、を具備している。本実施形態においては、回線接続部11が公衆回線接続部、ネットワーク接続部12が第1回線接続部、コネクタ部13が第2回線接続部を構成し、通信媒体23が第1通信回線、通信媒体34が第2通信回線を構成し、サーバ装置21やパソコン22等が第1端末装置、パソコン31~33が第2端末装置を構成している。

【0016】ファクシミリ装置10は、例えば、TCP (Transmission Control Protocol) / IP (Internet Protocol) 通信を行なうように構築されているネットワークA上で設定されているIPアドレスを指定されることによって、サーバ装置21を中継されてくるパソコン22等で作成されたデータをネットワーク接続部12を介して受け取るようになっており、そのデータはファクシミリ番号が付加されている場合にはその送信先へ回線接続部11を介して送信し、付加されていない場合には記録部15により記録出力する。一方、このファクシミリ装置10は、パソコン31~33と共にネットワークBを構築しており、パソコン31~33で作成されたデータはコネクタ部13を介して直接受け取って同様に処理する。すなわち、ネットワークAが第1ネットワークを構成し、ネットワークBが第2ネットワークを構成している。

【0017】このファクシミリ装置10は、パソコン31~33の何れかを指定するアドレス情報を登録するアドレス登録部17と共に、ネットワークAで指定されてくるIPアドレスからアドレス情報を抽出(取得)して認識するアドレス認識部18を設けられており、ネットワークA上のサーバ装置21を介してパソコン22から送られてきたデータの送信先として指定されているIPアドレスからアドレス情報が認識されたときには、データ処理部16はそのアドレス情報が登録されているか否かを判別してメモリ部14に記憶させたデータを該当するパソコン31~33に直接配送するようになっている。すなわち、データ処理部16が登録判別部および配送処理部を構成している。なお、本実施形態では、ネットワークA上のサーバ装置21からパソコン31~33へデータを送信する場合を説明するが、ネットワークA上で割り振られているIPアドレスを登録してパソコン31~33からサーバ装置21やパソコン22等へ送信することができるよう構成してもよいことはいうまでもない。

【0018】次に、ネットワークA上のパソコン22からパソコン31~33を送信先として指定するデータを受け取った場合を図2に示すフローチャートを用いて作用とともに説明する。まず、パソコン22で作成されたデータがサーバ装置21に蓄積された後にネットワーク接続部12を介して受信されると(ステップP1)、その受信データがメモリ部14に記憶保存される(ステップP2)。

【0019】次いで、その受信データと共に送られてく

るIPアドレスからその送信先として付加されているアドレス情報を抽出/認識する処理が行なわれた後に、抽出されたアドレス情報がアドレス登録部17に登録されているか否かを参照(判別)され、そのアドレス情報が登録されていない場合には(ステップP3)、該当する送信先が見つからない旨がサーバ装置21へ通知される(ステップP4)。ここで、IPアドレスにアドレス情報が付加されていない場合にも該当する送信先が見つからない旨がサーバ装置21へ通知される。

【0020】一方、抽出されたアドレス情報がアドレス登録部17に登録されている場合にはメモリ部14に保存された受信データにパソコン31~33の何れかを指定する送信先情報(アドレス情報でもよい)が対応付けされて記憶される(ステップP5)次いで、サーバ装置21からのデータの受信がない場合や(ステップP1)、受信データに送信先情報が対応付けされた後に、メモリ部14内の受信データに送信先として対応付けされているパソコン31~33の何れかが自己への受信データの有無を確認してきたときに(ステップP6)、その受信データがメモリ部14から読み出され該当するパソコン31~33に送信(配送)される(ステップP7)。

【0021】このように本実施形態においては、ファクシミリ装置10はネットワークA、Bにより利用可能に別個に接続されているが、ネットワークB上のパソコン31~33を指定するアドレス情報を予めアドレス登録部17に登録しておくことにより、ネットワークA上のパソコン22で作成したデータを、ファクシミリ装置10のIPアドレスにパソコン31~33の何れかを送信先として指定するアドレス情報を付加してサーバ装置21を介して送信することによって、その登録の有無を判別してそのパソコン31~33へ配送することができる。したがって、別々のネットワークA、B上のパソコン22、31~33の間でも直接データを送受することができる。

【0022】なお、本実施形態では、受け取ったデータを配送するファクシミリ装置に適用した場合を説明しているが、原稿から読み取った画データを送信する機能を備えるものに適用可能であるとともに、パソコン22等から直接IPアドレスを指定され受け取ることができるようにしてもよいことはいうまでもない。次に、図3は本発明に係るファクシミリ装置の第2実施形態を示す図であり、本実施形態は上述第1実施形態に適用したものであるため、図1を流用して説明する。

【0023】まず、構成を説明する。図1において、ファクシミリ装置10は、アドレス認識部18が回線接続部11を介して受信した画データから例えば、OCR (Optical Character Reader) あるいはOMR (Optical Mark Reader) などと同様な方式によりパソコン31~33のアドレス情報やサーバ装置21やパソコン22等に割り振られているIPアドレスを抽出/認識可能に構成されており、画データからアドレス情報が認識されたときには上述実

施形態と同様に、データ処理部16が、そのアドレス情報がアドレス登録部17に登録されているか否か判別してメモリ部14に記憶させた画データを該当するパソコン31~33に直接配送する。また、このデータ処理部16は、IPアドレスが認識されたときにはネットワークA上の不図示のネームサーバを利用して受信データをネットワーク接続部12によりサーバ装置21、パソコン22等へ転送させたり、そのIPアドレスに該当する端末装置が存在しない場合には受信データを記録部15により記録出力させるようになっている。

【0024】次に、ファクシミリ受信した画データをパソコン31~33に送信する場合を図3に示すフローチャートを用いて作用とともに説明する。なお、本実施形態における処理は、上述第1実施形態と略同様であるので、同様な処理には同一のステップ数を付して説明する。まず、電話回線を介して送られてきた画データが回線接続部11によりファクシミリ受信されると（ステップP11）、その受信データ（画データ）がメモリ部14に記憶保存される（ステップP2）。

【0025】次いで、その受信データからその送信先として付加されているアドレス情報を抽出／認識する処理が行なわれた後に、抽出されたアドレス情報がアドレス登録部17に登録されているか否か参照され、そのアドレス情報が登録されている場合には（ステップP3）、メモリ部14内の受信データにパソコン31~33の何れかを指定する送信先情報が対応付けられ（ステップP5）、自己への受信データの有無を確認しにきたときに（ステップP6）、その受信データはメモリ部14から読み出され該当するパソコン31~33に送信される（ステップP7）。

【0026】一方、受信データから抽出されたアドレス情報がアドレス登録部17に登録されていない場合には（ステップP3）、ネットワークA上のネームサーバにそのIPアドレスが存在するか確認して（ステップP12）、確認された場合にはその受信データはメモリ部14から読み出されてネットワークA上へ送出されてサーバ装置21やパソコン22等へ転送される（ステップP13）。また、ネットワークA上にそのIPアドレスが見つからない場合にはその受信データはメモリ部14から読み出されて記録部15により記録出力される（ステップP14）。

【0027】このように本実施形態においては、上述第1実施形態の作用効果に加え、ファクシミリ装置10はファクシミリ受信した画データをもネットワークA、B上のサーバ装置21、パソコン22、31~33へ配送することができる。次に、図4および図5は本発明に係るファクシミリ装置の第3実施形態を示す図であり、本実施形態は請求項2、3に記載の発明に対応する。なお、本実施形態では、上述実施形態と同様な構成には同一の符号を付して簡単に説明する。

【0028】まず、構成を説明する。図4において、フ

ァクシミリ装置50は、回線接続部11、ネットワーク接続部12、メモリ部14、データ処理部16、アドレス登録部17およびアドレス認識部18を具備すると共に、原稿画像から画データを読み取るスキャナ部（読取部）51および読み取られた画データを補正するなどの処理を施す画像処理部52が設けられている。なお、本実施形態では、ネットワーク接続部12がネットワーク回線接続部を構成している。

【0029】このファクシミリ装置50は、アドレス認識部18がスキャナ部51により読み取って送信する画データからOCRあるいはOMRなどと同様な方式によりサーバ装置21やパソコン22等のIPアドレスを抽出／認識可能に構成されており、上述実施形態と同様にデータ処理部16は、画データからIPアドレスが認識されたときにはネットワークA上のネームサーバを利用して、メモリ部14に記憶させた画データ（送信データ）を該当するサーバ装置21、パソコン22等へ直接配送するようになっている。また、アドレス登録部17には、IPアドレスをファクシミリ番号に対応付けして登録するようになっている。画データから認識されたIPアドレスにファクシミリ番号を利用するように設定されている場合には、データ処理部16は、回線接続部11によりそのファクシミリ番号のファクシミリ端末装置に送信データをファクシミリ送信させるようになっている。

【0030】次に、送信する画データをIPアドレスにより送信先を指定してサーバ装置21、あるいはパソコン22等に送信する場合を図5に示すフローチャートを用いて作用とともに説明する。まず、送信する画データがスキャナ部51により原稿から読み取られると（ステップP21）、その送信データは画像処理部52により補正などが施された後に（ステップP22）メモリ部14に記憶保存される（ステップP23）。

【0031】次いで、その送信データから送信先を指定するため原稿の一部に書込まれたIPアドレスの画データを抽出／認識する処理が行なわれた後に（ステップP24）、送信先のIPアドレスの認識に成功したか否かが確認され（ステップP25）、失敗した場合には読み込みエラーを示すメッセージを不図示の表示器に表示出力する（ステップP26）。

【0032】一方、IPアドレスの認識に成功した場合にはそのIPアドレスがアドレス登録部17にファクシミリ番号を用いるように設定登録されているか否か参照（判別）され（ステップP27）、そのIPアドレスが登録されていない場合やファクシミリ番号を用いるように設定されていない場合にはネットワークA上のネームサーバにそのIPアドレスが存在するか確認された後にメモリ部14から読み出した送信データがネットワークA上へ送出されてサーバ装置21やパソコン22等へ転送される（ステップP28）。また、IPアドレスがファクシミリ番号を用いるように設定登録されている場合には、メモ

リ部14から読み出された送信データにIPアドレスが付加された後にそのファクシミリ番号のファクシミリ端末装置に回線接続部11を介して送信される(ステップP29)。なお、送信データに付加されたIPアドレスは上述第2実施形態で説明したような形式で利用することができる。

【0033】このように本実施形態においては、読み取った画データからIPアドレスを認識してそのIPアドレスで指定されるネットワークA上のサーバ装置21やパソコン22等へその画データを配送するとともに、そのIPアドレスにファクシミリ番号を対応付けして予め登録しておくことにより、その画データを電話回線を介してファクシミリ送信することもできる。したがって、接続されているネットワークA上のサーバ装置21やパソコン22等へ読み取った画データを容易に直接配送することができるとともに、例えば、サーバ装置21やパソコン22が故障などにより使用不能であったり、ファクシミリで原稿を受け取りたい場合などには読み取った画データをファクシミリデータとして配送することができる。また、IPアドレスなどを手入力する必要もない。

【0034】なお、本実施形態では、読み取ったデータを送信するファクシミリ装置に適用した場合を説明しているが、画データを受信する機能を備えるものに適用可能であることはいうまでもない。また、上述実施形態では、IPアドレスの端末装置の存在をネームサーバに確認した後にデータを送信しているが、その存在が既知である場合などには確認することなくデータの送信を実行するようにしてもよいことはいうまでもない。

【0035】

【発明の効果】請求項1に記載の発明によれば、公衆回線と共に、別々のネットワークに接続される場合であっても、ネットワーク上で使用される端末装置のアドレスを予め登録しておくことにより、一方のネットワーク上の端末装置から受信したデータが送信先として他方のネットワーク上の端末装置のアドレスを指定している場合には、そのアドレスを取得して登録の有無を判別した上で、受信データを他方のネットワーク上の端末装置へ配送することできるので、別々のネットワーク上の端末装置の間でも直接データを送受することができる。この結果、利用性を向上させることができる。

【0036】請求項2に記載の発明によれば、読み取った画データからアドレスを認識してネットワーク上の端末装置へその画データを配送するので、接続されているネットワーク上の端末装置へ読み取ったデータを直接配

送することができる。この結果、利用性を向上させることができる。請求項3に記載の発明によれば、予めネットワーク上で使用する端末装置のアドレスをファクシミリ番号に対応付けして登録しておくことにより、読み取った画データから認識したアドレスの登録の有無を判別しそのアドレスに対応付けされているファクシミリ番号のファクシミリ端末装置へそのデータを配送するので、例えば、ネットワーク上の端末装置の使用状態やユーザの都合などに応じて読み取ったデータをファクシミリデータとして配送することができる。この結果、利用性をより向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るファクシミリ装置の第1実施形態を示す図であり、その概略全体構成を示すブロック図である。

【図2】そのデータの受信を説明するフローチャートである。

【図3】本発明に係るファクシミリ装置の第2実施形態を示す図であり、そのデータの受信を説明するフローチャートである。

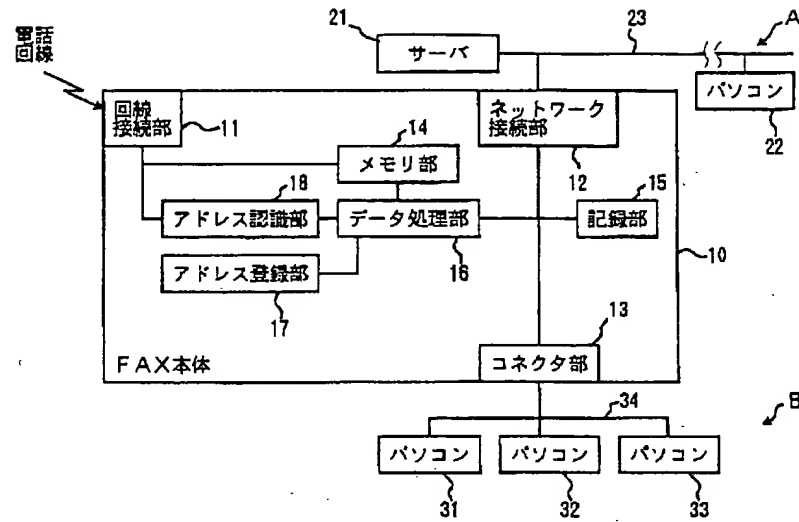
【図4】本発明に係るファクシミリ装置の第3実施形態を示す図であり、その概略全体構成を示すブロック図である。

【図5】そのデータの送信を説明するフローチャートである。

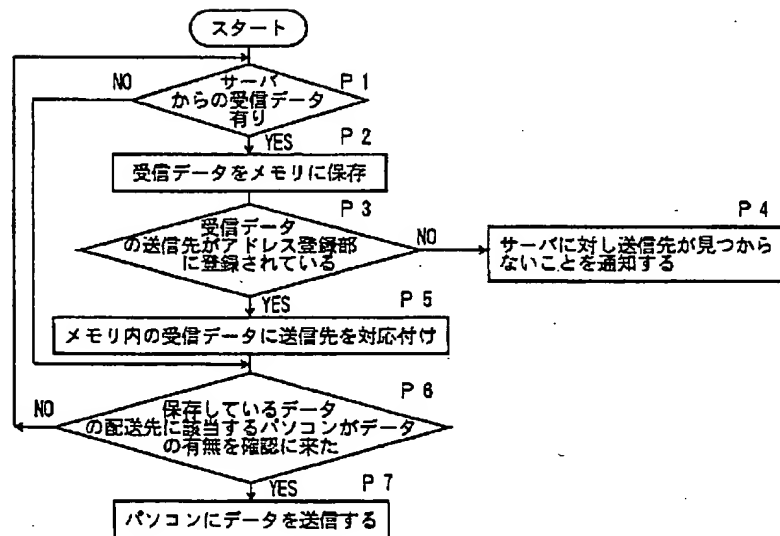
【符号の説明】

- 10、50 ファクシミリ装置
- 11 回線接続部(公衆回線接続部)
- 12 ネットワーク接続部(第1回線接続部、ネットワーク回線接続部)
- 13 コネクタ部(第2回線接続部)
- 14 メモリ部
- 15 記録部
- 16 データ処理部(登録判別部、配送処理部)
- 17 アドレス登録部
- 18 アドレス認識部
- 21 サーバ装置(第1端末装置)
- 22 パーソナルコンピュータ(第1端末装置)
- 23 通信媒体(第1通信回線)
- 31~33 パーソナルコンピュータ(第2端末装置)
- 34 通信媒体(第2通信回線)
- A ネットワーク(第1ネットワーク)
- B ネットワーク(第2ネットワーク)

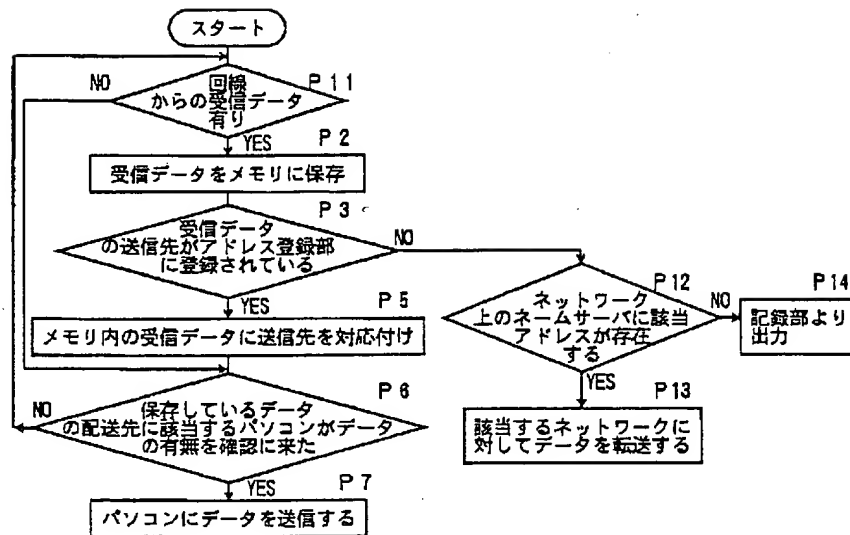
【図1】



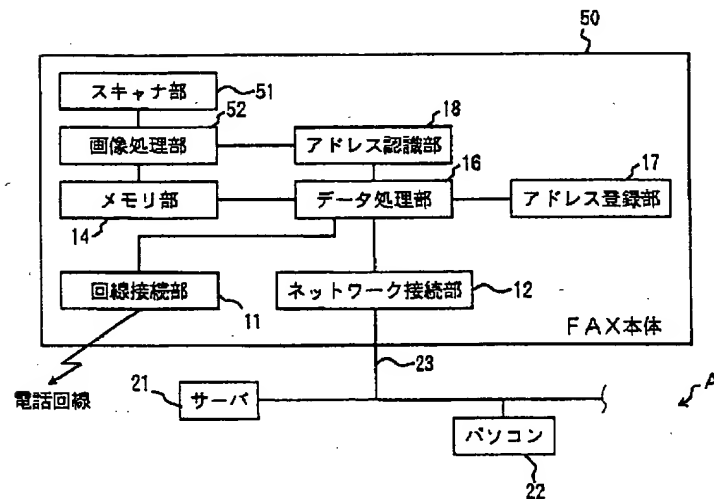
【図2】



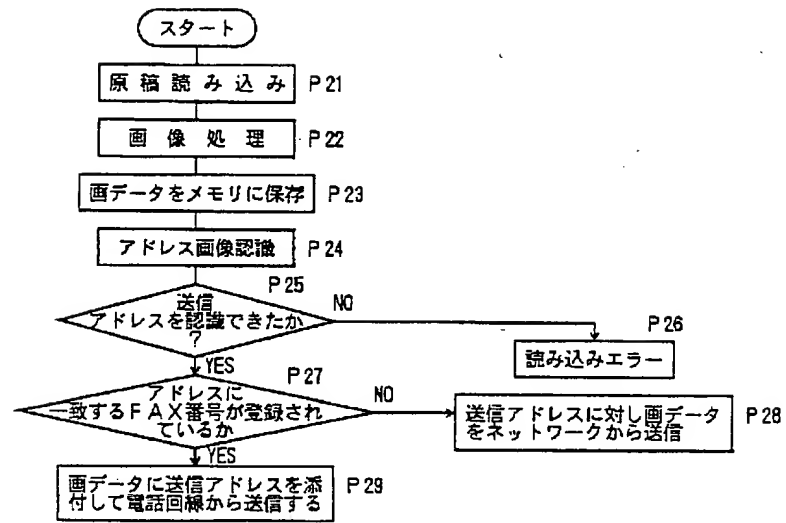
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/32

識別記号

3 0 3

F I

H 0 4 L 11/20

1 0 1 C